

静岡精華学園報

令和4
2022
春季

発行者:学校法人静岡精華学園 〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 TEL.054-656-2100(代) www.s-seika.jp

SHIZUOKA
SEIKA
GAKUENHO
VOL.3

生老病死のいとなみを次世代とともに考えていきたい。



静岡福祉大学 学長

増田樹郎

「過去の虜になってはならない、未来の虜にもなってはならない。いまある現在性こそ大切にしない」。昨春、副学長に就く折の挨拶のなかの一文です。思いがけず重責を与えられた戸惑い

のなかで、哲学者ヤスパースのことばを借りてささやかな決意を伝えました。いま在る歴史的な立ち位置を自覚し、そこにある〈状況〉と真摯に向き合うことを示唆しています。

本学に赴いたのは2018年春。愛知教育大学を退き、20年余にわたって取り組んできた重症児(者)等の支援現場に立つ準備をしていました。そんな折に、縁をいただいて再び教壇に戻るとは思いもよらぬことでした。爾来、4年を経ました。顧みて、長きにわたる研究・教育の「老計」にさしかかった今になって、さらに4年の任期を全うする学長に就くとは、「想定外」というほかありません。

我が事の「人事」で印象深い体験は、2011年春、愛知教育大学附属岡崎小学校の校長(2年任期)に就任したことでした。経験知が皆無にもかかわら

ず、突然に700名余の子どもたちの前に立つことになりました。その折、校長室の重い扉を開けて、芹沢銈介のいろは文のれんを付けてみると、子どもたちが次々とのれんをくぐって入ってくるのです。そのまなざしの美しさはいまも強く印象に残っています。おかげで110年史において「もっとも子どもと遊んだ校長」という異名を与えられました。

浅学ながら私は、老いや病い、障がいなどの実存的な意味を理解していく「福祉臨床の哲学」を追究してきました。ラテン語の「生きる」が「人びとの〈間〉に在ること inter homines esse」と同義(H.Arendt)であるとすれば、この〈間〉にある生老病死のいとなみを考察していくことがライフワークなのです。いましばらく本学において、次世代と共にこの議論を深めていくことを大切な使命にしたいと願っています。

人のしあわせを考え、人とかわり、人の生活を見つめる。

この度、静岡福祉大学社会福祉学部長を拝任いたしました長坂和則でございます。

現在、福祉心理学科におきまして精神保健福祉士養成とスクールソーシャルワーカーの養成に携わっております。専門分野は「アディクション問題」として、アルコール・薬物・ギャンブル障害などの依存症のメカニズムや支援のあり方などの研究をいたしております。

また、静岡県のギャンブル等依存症対策連絡協議会などで、予防や対策

に取り組んでおります。さらに教育の姿勢として学生と向き合いながら、対象となる人の幸せを考え「社会福祉学を基本とした人とかかわり」の学びを通して、人の生活を見つめるようにしています。

人を尊重し大切にすることを身につけていくと同時に、人とかかわることとその役割には「責任」があることを学生と共に考え、共に理解を深めていくよう取り組んでおります。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。



静岡福祉大学
社会福祉学部 学部長

長坂和則

子どもの感受性と探究心を失わない先生の養成

静岡福祉大学 子ども学部 学部長 齋藤 剛

この度、子ども学部長となりました齋藤と申します。ご存じの通り、資質・能力をベースとした教育改革の真っただ中で、子どもの教育に関わる学部の長となりましたこと、身の引き締まる思いです。幼児教育では日々目を輝かせて世の中の様々な理について積極的に関わり探求する子どもたちが、小・中・高では嫌々勉強することになるのはどうしてだろうかと考えています。娘が3,4歳の時、太陽は地球の周りを周っていると思うよ、と言ってい

たのが、9歳となった今は太陽の周りを地球が周っているんだよ、当たり前じゃん、と言うようになりました。自分の五感で感じていた世界が、「勉強」で学んだ世界に変わっていくことを実感した出来事です。でも、ほんの400年前までは太陽が地球の周りを周るのは大常識だったのです。「当たり前」に惑わされることなく、様々な現象に不思議さを感じ、探求し続ける心を持つ保育士、教諭の養成を目指したいと思っています。



いいネ!

CHECK!!

新任あいさつ&プロフィール

静岡福祉大学 子ども学科 学科長



**二木
幸秀**

この度、子ども学科の学科長を仰せつかりました二木幸秀でございます。学生の為、子ども学科の為、そして静岡福祉大学の為に、お役に立てるよう誠心誠意努力いたします所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

●プロフィール

3歳よりピアノを始める。これまでに数々のオペラ、バリトンソリスト、語り役、ストレートプレイ等の舞台経験をもつ。またミュージカルにおいては、作・編曲及び出演もこなす。平成13年から平成27年まで、厚労省の外郭団体である児童健全育成推進財団が主催する児童劇巡回事業に参加、平成18年からは9年間「歌う♪ブレイメンの音楽隊」(遊育研究所素劇舎制作)の公演班責任者として全国の児童館で公演・ワークショップを行い、多くの子どもたちと交流してきた。

現在は大学において音楽教育・表現教育・表現活動を主とする後進の育成、合唱団・劇団・各種団体における指導、ヴォイストレーニング、ワークショップや研修会等を行うとともに、自身の演奏活動、舞台演出、音楽監督、音楽製作、舞台スタッフとして精力的に取り組んでいる。

静岡福祉大学 事務部長



**遠藤
博義**

この4月から静岡福祉大学の事務部長を務めさせていただいております遠藤義博と申します。よろしくお願いたします。3月までは静岡大成中学校・高等学校で2年3か月ほど事務長を務めさせていただきました。私は、会計事務所に勤務したの

ち、静岡精華学園には昭和61年に入職しました。時の経つのは早いものです。いつの間にか事務職員では一番古株になってしまいました。歴史と伝統のある静岡精華学園で働かせていただきとても光栄に思っております。私の出身は、安倍川の上流、旧安倍郡玉川村（現在は静岡市葵区）です。とても長閑なところで育ちました。最近ではウイスキー工場ができて少し話題になりました。家族は、妻と長男(27歳)、次男(25歳)です。私の趣味は、朝の散歩と毎週土曜日の午後、静岡福祉大学のグラウンド又は体育館をお借りしてサッカーを楽しんでいます。良かったら一緒に体を動かしませんか。(ややお年を召してはあまり上手でない方、特に歓迎です。)

静岡精華幼稚園 園長



熊谷
弘隆

「自分づくり」と「仲間づくり」

本年度、幾田光男園長の後任として就任しました熊谷隆弘と申します。私は、令和4年3月まで2年間静岡市立竜南小学校長を勤めておりました。その竜南小学校で、学校経営の柱として児童に投げかけていた合言葉が、「自分づくり」と「仲間づくり」です。

「仲間づくり」は、常に友達や仲間を大切にし、他者への感謝の気持ちをもって日々の生活を送ること。「自分づくり」は、友達や仲間を大切にすると同じくらい自

分も大切に、「さらに上の自分」をめざして自らを高めようと努力を積み重ねること。言い換えると、「昨日の自分より今日の自分、今日の自分より明日の自分!」ということでしょうか。

この言葉のいいところは、「わかりやすく、自分なりの解釈がしやすいこと」と「どの世代においても大切なことである」という点です。

私自身もこの「自分づくり」と「仲間づくり」を常に意識し、精華幼稚園においてもこの言葉を大切にしたい幼稚園経営に邁進して参りたいと考えています。

静岡大成中学校・高等学校 事務長



鈴木
一藤

私学振興にどっぷり浸かった人生を過ごして来ました。人生は邂逅(かいこう)である、との言葉を実感するような、多くの私学人との出会いの中で教育への識見と情熱を教えてくださいました。

この3月に私学協会を退職して終活も考えた時に、杉原理事長様からお声掛けをいただき、伝統ある静岡大成中・高等学校に席を置かせていただくこととなり、校門脇のピンクと白いハナミズキが迎えてくれる青春期の毎日です。

サムエル・ウルマンの「青春」の詩を実践しています。青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ／年は七十であろうと十六であろうと、その

胸中に抱き得るものは何か／曰く驚異への羨慕心、空にきらめく星晨／その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、／事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生に対する歓喜と興味…まもなく、校門脇に紫陽花(あじさい)が咲いて迎えてくれます。

静岡大成中学校・高等学校

新入職員(の先生)



鈴木 恵

Megumi SUZUKI

- 教科 英語
- 本校職員としての抱負

自分の思いを言葉にして伝えられる生徒を育てたいです。

- 趣味や好きなこと

Mr. Children、BUMP OF CHICKENのライブに行くこと。



中田 懐仁

Natsuhito NAKADA

- 教科 数学
- 本校職員としての抱負

自分の全てを出して、教科指導、生徒指導、進路指導に努め、生徒の模範となるよう頑張っていきたいです。

- 趣味や好きなこと

趣味は折り紙です。本気のときは紙や折り方、裏打ち、骨組みなどに気を使っています。大抵は失敗しています。



廣川 徹

Tooru HIROKAWA

- 教科 体育
- 本校職員としての抱負

本校の校訓に基づき、凛々しく優しい生徒を育てると共に、率先垂範を意識した行動に取り組んでいきたい。

- 趣味や好きなこと

サッカー・ジブリ映画鑑賞・自然観察



幼稚園からの巣立ち ～卒園式～

静岡精華幼稚園 副園長
谷澤徳子

春は出会いと別れの季節と言いますが、令和3年度も年長児70名の卒園生がとて立派な姿で幼稚園を巣立って行きました。思い返せばこの子どもたち、入園当初は右も左も分からず、“みなさん”の呼びかけに“みなさんって誰?”“男の子、おかばんを取りに行きましょう!”の呼びかけにも動じず…。それでも幼稚園は楽しいところということが少しずつ分かり、また、お友だちと喧嘩をしながらも譲り合うことも覚えていきました。そしていろいろな行事を通して心も身体も大きく育って行きました。

精華幼稚園では、『経験の幅、体験の幅の拡大』『人間関係調整力の伸長』

『聞く態度、聞き取る力の育成』の3点に重点をおき保育を行っています。幼児期の3年間は想像するよりはるかに大きなもので、子どもたちは様々な経験、人との関わりによって大きく成長します。聞く力はすべての活動の基本となり、教師や友だちの言葉に耳を傾けることにより日々のメリハリのついた生活に繋がっていきます。そし

て、幼稚園生活の集大成が卒園式です。卒園式は2月の後半より練習が始まります。子どもたちにとっては1時間以上座ったり立ったりと我慢が伴う時間となります。私も毎年年長児と共に練習に参加するのですが、昨年度の年長児は初めての練習の時から姿勢もよく、私語もなく、素晴らしい態度でした。卒園式の前日には、在園児に卒園生からお別れの言葉のお披露目があります。憧れの年長さんの凛々しい姿に在園児の目は釘付け、思わず泣き出してしまふ子もいます。職員も3年間の様々な思いが頭を駆けめぐり涙しています。そして卒園式当日、堂々と胸をはった年長児70名が巣立って行きました。精華幼稚園で学んできたことを忘れず、それぞれの小学校で活躍してくれることを願っています。

法人本部の小窓から

法人本部事務局 総務課主任
高橋幸治

静岡市に中高と幼稚園、焼津市に大学を設置する学校法人静岡精華学園の法人本部事務局(以下、法人本部)の事務室は大学内にあります。

平成4年4月の短大開学と同時に法人本部は設置され、当初は中高事務室の隣にありました。短大に介護福祉学科を設置する準備のため平成12年6月に短大管理棟1階(現在、大学の教務課及び学生支援課がある場所)に移り、その後、平成16年の大学設置の際に大学管理棟2階(現在の図書館隣の多目的室)、平成20年に介護福祉棟2階に引越して現在にいたります。



今の法人本部職員は最も長い者で所属3年。それをメリットとして捉え、改革に着手していきたいと思います。

業務の内容的に、近寄りやすい印象があるかもしれませんが、気さくな者、マニアックな者、そして寂しがり屋もあり、各所属とのつながりを太くしていきたいと考えていますので、気軽に相談にお越しく下さい。私たちが雰囲気づくりに努めます。

数年前にドアに明かり窓を設置しました。ネオ法人本部の仕事ぶりを覗きにきてください。



旅立ちの日に

令和3年度 高校3年学年主任
横山 力

3年間学年主任として共に過ごした生徒たちが3月1日に、それぞれの道へ旅立ちました。卒業式にあたり、私自身が生徒に伝えたことは「卒業式というのはみんなのためだけに行うものではなく、ここまでずっと同じ道を一緒に歩いてきてくれた保護者のためにも行うものだから、最後に自分の成長した姿をしっかりと見せ、感謝の気持ちが伝わるような卒業式にしよう。」でした。

卒業式当日に壇上から見た生徒の表情は凛々しく堂々としたものであり、共に過ごした時間がどれだけ尊いものだったかを教えてくれました。そして、我々がすべきことはこの旅立ちの時をどう迎えさせてあげられるのかを真剣に考えて向き合うことなのだを教えてくれました。134名の生徒たち、そしてこの縁を与えてくれた保護者の皆様への感謝の気持ちを忘れることなくこれからも教師として生きていこうと思います。

同窓会の伊藤郁乃さん

静岡精華・大成同窓会事務局
遠藤ゆきゑ

静岡福祉大学地域交流センター企画展「みんなで知ろう!ハンセン病」～生きた証を知ってほしい～が焼津駅前サテライトキャンパスにて開催されました。その企画に携わってくださったのが、中・高同窓生(1977年卒業)の伊東郁乃さんでした。伊東さんは、動物介在活動「ぶらす」の代表をされており、ハンセン病施設に犬猫と伺い、入所者たちとのふれあい及び啓発活動を続けています。2020年には第54回社会貢献者表彰を受賞されました。

今まで公共施設で企画展等行っていたのですが、昨年若くは若い世代への啓発を考えたとき「学校」がとても重要と思い始めたそうです。「ハンセン病を学ぶことは人間を学ぶこと

」と言われていました。誤った国策により隣近所も学校も行政もすべてが加害者集団に仕立てられてしまった歴史を正しく理解を深めることは、人権、尊厳、そして自分自身を振り返ることに繋がります。最近の自己肯定感がないという若者たちに、目が見える、指が動く、自分の足で歩ける、そして自分自身で選択ができるだけで、実は「恵」に満ちていることを知ってほしいと伊東さんは願っています。

現在企画展第二弾を準備中なので…お楽しみに。

賑やかで、楽しい桜凧会

桜凧会 会計
利倉千晴

桜凧会は、森田さえ子会長を中心として、元PTA役員経験者が大成中学・高等学校の生徒さんの部活動等の後援をする

ため、平成22年の立ち上げから活動しております。

バザーでは、毎年桜凧会も参加させて頂き(1昨年前からはコロナで残念ながら中止でしたが)定番のカレーは大好評で、会場で一番賑やかで、活気溢れているのが桜凧会のブースと自負しております。

中高の生徒さんが部活動や学校生活を通して、社会へ羽ばたいて行くことに微力ながらお手伝い出来るのが、私達桜凧会の喜びでもあります。

桜凧会のメンバーも随時、募集しております。大人になってからの友人は、なかなか作れませんが、このお仲間に出会えた事は、私の生涯の宝となっております。

今後も生徒さん達の活躍を支援できるように楽しく活動して行きたいと思っております。

GIGA SCHOOL ギガスクール 構想

静岡大成中学校・高等学校 教頭 佐野有一

令和元年(2019年)12月19日 文部科学大臣からのメッセージをうけGIGAスクール構想がスタートしました。

段階的に導入する予定であった1人1台端末環境も、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によって計画が一気に前倒しになりました。令和3年度の文科省の調査では、全国の公立小学校等の96.1%、中学校等の96.5%が、「全学年」または「一部の学年」で端末の利活用を開始しています。※①

本校もこれに遅れることなく、令和3年4月には静岡大成中学の全員が端末を持つことになりました。静岡県の高等学校を調べてみると、令和4年度当初見込みは38.1%と1人1台端末環境が遅れており、全国的にも低い数字となっています。本校は高校1年生及び2年生が持つこととなりますので、全体の3分の2となります。校内には3年生が利用できる端末が1クラス分整備され、これを加味すると71%の整備率となります。※②

【求められるスキル】

「読み、書き、そろばん」は江戸時代に学問の基礎と考えられていましたが、現代ではどうでしょうか。

読むという力は、情報過多の時代にあって情報取捨手段の多様化や正しい情報を選択する能力と置き換えられそうです。もしくは国際化の時代にあって英語を読む力と考えるのも良いかもしれません。

書くという力は、PCなどを使ったワープロ操作などに置き換えられそうで

すが、それはあまりにも当たり前で、書くというより説明するプレゼンテーション力や資料作成力、アウトプットの必要性が近いのではないのでしょうか。

そろばんは、PCに置き換えられそうですが、これもスマートフォンやタブレット、PCと様々な種類があり、その利用についても時間と国境を超えるインターネット利用を前提としたクラウドとセキュリティを意識しなければならないでしょう。

本校の建学の精神にある「時代に即応する人材の育成」は、その時代にあった能力を持つ生徒の育成を説いているように思います。もちろんオンドックスな基礎力をないがしろにすることなく、基礎力の上にプラスする形が望ましいのは言うまでもないでしょう。来年度には全生徒が端末を持つこととなりますので、教員側も校内での利活用優良事例の共有とPDCAサイクルの徹底を進める必要があります。

多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びの持続的な実現に向かって、教職員が一丸となって取り組みたいと思っております。

※①文科省 GIGAスクール構想に関する各種調査の結果 令和3年8月

※②文科省 高等学校における学習者用コンピュータの整備状況について (令和4年度見込み)



Nさん(中高卒業生)からのメール

Nさんに学園報を届けようと彼女が店長を務める「パンと焼き菓子のお店 tomo」に行ってきました。そこでは「私が尊敬する知人」の息子さん「Rさん」が私を歓迎してくれました。Rさんはそのお店で働くようになってから見違えるように元気になったと聞いていました。

その晩、私はNさんにメールしました。帰りにたくさんのお土産をいただいたお礼と、嬉しくて初対面の彼について馴れ馴れしく接してしまったお詫びのメールです。するとNさんは長文のメールを返してくれました。

.....

こんばんは。Nです。

自宅に戻り、ひと段落後で返信遅くなりました。

今日はお店に寄っていただきありがとうございます。ありがとうございました。

学園報きちんと読ませていただきました。私のために労力を割いていただき、本当にありがとうございます。母にも読んでもらえました。ちなみに姉も精華卒で喜んでおります。

そして
〇〇さんの息子さんのRさん

昨年の学園報(注)で紹介した Nさんとダウン症のRさんのこと 渡会 進

とても満足だったと思います。
夢が叶ったくらい嬉しかったと思います。

おしゃべりなダウン症の方もいますが彼ほど話が堪能な方はいませんよ。(笑)
〇〇さんの血を受け継いでいますね。そんな彼も2年前ここへ来た時は別人のようでした。
きちんとした支援を受けられなかったために辛い思いをされてきたのだと思います。
能力が高いために、人との付き合いを回り道しなければならぬ状況の中で生きてきたため鎧は頑丈でした。

幸いご両親がとても素敵な方々だったことが彼の救いだったと思います。家庭に恵まれているなど。
障がいのある方は生育歴が全てとっていいほど関係性が強く、素直な賢い息子さんはご両親の育て方だと本当に思います。
フレンドリーにしてくれたことが、余計嬉しかったと思います。
全く問題ありません。
お気遣いありがとうございます。

パンの購入もありがとうございました。
奥さまがパン屋さんというのもまたご縁の繋がりと感じてしまいます。
お恥ずかしいですが、食べていただけて

嬉しいです。材料にも本当にこだわっています。
加工品は使わず、具材も手作りしています。

元々5年前にこのお店を作った経緯として福祉の枠から外れて障がいのある人もない人も共に働ける場を目指して建てました。
ですので、隠してもいませんが、あえて公表もしていません。

またぜひ寄ってくださいね。
夜分遅くに失礼いたしました。



「パンと焼き菓子のお店 tomo」

静岡市清水区船越南町
障がい者も主人公として精一杯生き、人間としてたくましく、豊かな人生を築くことを目指している。
社会福祉法人清水あすなろ福祉会 心身障がい者施設「ともの家」が運営。

人はみな、人は誰も、支えられて生きています。

HAPPY

お母さんと喧嘩してしまった中学生の孝君は、腹いせに「もう誰の世話にもならない。俺は俺で生きていく。」と啖呵を切ってしまいました。そして、口も利きたくないといってひとり部屋に閉じこもってしまいました。しかし、夜更けとともに増してくる空腹感には勝てず、ひとり部屋

を抜け出して、500mほど先にあるコンビニエンスストアに向かいました。ストアに着いた孝君は、そこで焼肉弁当とお茶を買いました。そして、再び家に引き返しました。

さて、コンビニエンスストアに向かって歩いている孝君を思い描いてみましょう。孝君が通った道はきちんと舗装されていました。街灯が路面を照らしていて、所々にガードレールも施されていました。信号もあり、たまたま通りかかった車は、孝君が渡り終わるまで左折しないで待っていました。道中すれ違う人はいませんでしたが、孝君は迷うことなく行ってくることができました。いや、迷うも迷わないも、孝君は何の不安も感じることなくストアまで行って、また帰ってきたのです。お茶とお弁当を手にとって。

もうお分かりだと思いますが、孝君は家を出た途端、たくさんの人たちに支え



られていました。孝君は、勝手口から出たためサンダル履きでしたが、そんなサンダルでも歩きやすいように道路は舗装されていました。街灯は孝君の足下に明かりを運んでくれていました。ガードレールは隣の車道を走る車から身を守ってくれていました。交差点では信号が車を止めてくれました。そして、運転手さんは、孝君が渡り終わるまで待っていてくれました。道路をきれいに舗装した人たち。ガードレールや信号を取り付けた人たち。また道路の舗装や信号、ガードレールの設置を推進した県や市。更には道路交通法という法律が施行されていること自体、みんなみんな孝君を支えていたのです。

コンビニエンスストアにおいても同様です。手にしたいお弁当とお茶がお店に置いてあるという事実。お金を払えば品物を手にすることができるという事実。つまり、物資流通の仕組み、品物売買の仕組みという経済の仕組みが整備されているのです。

これはほんの小さな一例です。考えてみますと私たちは、社会の仕組みや制度も含め、直接的にあるいは間接的に、毎日四六時中一時も欠くことなく、支えられて生きているのです。自分一人だけで生きている人なんて、一人もいないのです。



静岡精華幼稚園 前園長
(平成17.4.1～令和4.3.31)

幾田光男

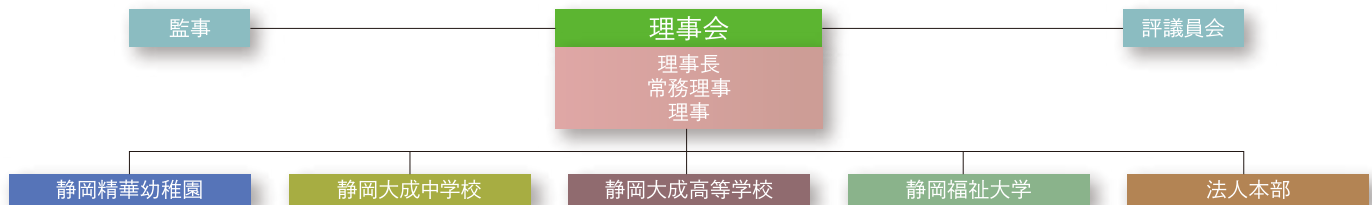
理事会、評議員会、監事とその役割について

近年、大学を設置する学校法人の経営に厳しい目が向けられています。多くの法人が教育理念と法律に基づいて適切に運営されていることはいまでもありませんが、一部の法人の不祥事がマスコミ等に大きく取り上げられ社会問題化していることも事実です。こうした動向を受けて文科省は評議員会の監督機能を強化する方向で私立学校法の改正を予定しています。健全な運営を目指すための組織内の管理体制を「ガバナンス」と呼びますが、改めて本学園のガバナンスの基本となる理事会、評議員会、監事についてご説明します。

学校法人は寄附行為（企業の定款にあたる）と呼ぶ規程に基づいて運営され、最終意思決定機関は理事長が招集する理事会がその任を担います。本学園の理事会は現在10人で構成され、本学園の教育機関の長は理事となることが定められています。また、理事会に諮る議案は、常勤の理事（理事長、常務理事、本学園の教育機関の長、事務局長）で構成される学校法人運営委員会で事前に協議した上で、すべての理事に送られます。理事会の

下には、法人を構成する静岡福祉大学、静岡大成高等学校、静岡大成中学校、静岡精華幼稚園、そして法人本部の5つの組織が置かれています。（下図参照）令和4年度は法人運営委員会の開催をさらに増やし、中期計画の進捗状況、財務の現状報告等について、きめの細かい協議を通じて、経営の健全化を一層進めることが決まりました。

一方、評議員会は法人の業務や役員の業務を厳しくチェックし、健全な運営を保証するけん制機能をもつ組織として位置づけられています。この3月、文科省の学校法人制度改革特別委員会は、「業務執行に対するけん制機能の健全な実質化が必要」「理事と評議員の兼職を禁止」という一歩踏み込んだ表現によって評議員会の権限を強化すべきとの見解を示しました。また、監事は業務を監査する機能を果たし、会計だけではなく教学（教育と学問）面についても適正に行われているかどうかについての監査が義務付けられています。このように、教育機関は自浄作用を前提とする厳しい仕組みのなかで社会に信頼される組織として歩み続けることが求められています。



【令和4年度の理事、監事、評議員】（敬称略）

令和4年5月27日現在

| | 氏名 | 学園との関係 | 寄附行為選任区分、根拠規程 |
|--------------|--------------------------|---------------------|--|
| 理事長 (理事) | 杉原 桂子 | 中高同窓会長 (元・中高教諭) | 理事長：第5条第2項[理事会で選任] 理事：第6条第1項第2号[評議員会で選任した評議員] |
| 常務理事 (理事) | 山城 厚生 | (元・大学副学長) | 常務理事：第5条第3項[理事会で選任] 理事：第6条第1項第3号[理事会で選任した学識経験者] |
| 理事 | 増田 樹郎 | 大学学長 | 第6条第1項第1号 |
| | 山田 隆司 | 中高校長 | [本学園が設置する学校の長] |
| | 熊谷 隆弘 | 幼稚園園長 | |
| | 押見 哲郎 | (元・中高校長) | 第6条第1項第2号 |
| | 増田 康行 | (元・中高PTA会長) | [評議員会で選任した評議員] |
| | 河合 修身 | (元・大学特任教授) | 第6条第1項第3号 |
| | 太田 晴康 | 法人事務局長 (元・大学学長) | [理事会で選任した学識経験者] |
| | 渡会 進 | 中高非常勤講師 (元・中高教諭) | |
| 監事 | 鈴木 淑乃 | (元・中高教諭) | 第7条 |
| | 森田 さえ子 | 中高校凍会会長 | [理事会で選出後、評議員会が同意し、理事長が選任] |
| 評議員 | 長坂 和則 | 大学社会福祉学部長 | 第23条第1項第1号 |
| | 齋藤 剛 | 大学子ども学部長 | [理事会で推薦後、評議員会で選任した本学園の教職員] |
| | 堀 泰之 | 高校教頭 | |
| | 片井 奈美 | 中学校教頭 | |
| | 山浦 典史 | 中高教員代表 | |
| | 谷澤 徳子 | 幼稚園副園長 | |
| | 遠藤 義博 | 大学事務部長 | |
| | 鈴木 藤一 | 中高事務長 | |
| | 小川 安恵 | 中高同窓会副会長 | 第23条第1項第2号 |
| | 牧野紀代美 | 中高同窓会副会長 | [理事会で選任した25歳以上の卒業生] |
| | 安池二三子 | 中高同窓会員、 中高非常勤講師 | |
| | 宮崎 暁子 | 大学同窓会長 | |
| | (後日選任予定) | 大学後援会長 | 第23条第1項第3号 |
| | 細川 友輔 | 中高PTA会長 | [理事会で選任した本学園の在籍者の父母若しくは保護者] |
| | 佐藤 真弓 | 中高PTA副会長 | |
| | 高橋 綾乃 | 幼稚園PTA会長 | |
| | 押見 哲郎 | (再掲) | 第23条第1項第4号 |
| 増田 康行 | (〃) | [理事会で選任した学識経験者] | |
| 杉原 桂子 | (〃) | | |
| 加藤 克洋 | 元・中高PTA会長 | | |
| 大石 眞 | 静銀ビジネスクリエイト 元・代表取締役社長 | | |

「どの学校にも名物校長やカミナリ教師はいるが『若さん』こと第三代校長・故杉原市蔵ほど卒業生の中に幅広い人気を持っている校長も少ない。市蔵は創立者・杉原正市の長男だが厳格一途の正市に比べると実に自由かつ達、進歩的な人だった。まだ県内に自動車数十台しかなかった大正時代、ドイツ製の乗用車ハノマーグを購入、さっそうと登校したり、自らバイオリンを奏でサキソフォンを吹奏…」

「この反面、非常に合理性に豊んだ人で、礼儀作法の厳しい同校では廊下で先生とすれ違って必ずお辞儀をするよう教えていた。ところが市蔵は『朝礼の時、先生と生徒がちゃんとあいさつをするのだから以後廊下ですれ違ってあいさつは不要』と宣言、先生や生徒をびっくりさ

せた。また、ある年の卒業式に県知事がわざわざ出席してくれることになったが…中略…市蔵が正市の死後すぐ校長になれなかったのもこんな市蔵の考え方に正市以来の子飼いの教師たちがついて行けず反対したからだという」

※毎日新聞静岡版連載「わが青春の日々」昭和48年～50年より抜粋

これは昭和50年に毎日新聞に掲載された記事である。

市蔵が正市の死後すぐには校長にならなかった理由については諸説あるが、この記事にあるような事情もあったのかと思う。

校長にはならなかったが校主である。本校の教育に彼の影響がなかった

はずがない。そしてそれは後の「精華」をどう動かしたのか。彼のことをもう少し記しておきたい。

当時の教員であった(後に教頭)斉藤幸雄の回顧録によると、市蔵は午後になると運動場の各部を巡って生徒に混じって運動を楽しんでいたようだ。そして当時の「庭球部」と「陸上競技部



左端ヴァイオリンの弓を持つのが杉原校長

杉原市蔵のこと

「スポーツの精華」の立役者 渡会 進

」は全校制覇を成し遂げており、「籠球部」「排球部」「卓球部」も県下最高峰といった具合である。この強さの秘密を斎藤はこう述べている。

「かくの如く強力を致すに至ったことの原因の第一に杉原市蔵先生が幹事(※)就任以来、スポーツに対する極めて強い関心を持たれたことが各関係者に大きく働き、選手のスポーツ意欲を燃やして専ら精進したからである。杉原市蔵先生はスポーツの場では、選手に極めて厳しかったが、反面、実に選手をよく労ったものである。そして負ける試合には出るな、負けて泣くような練習はするなどは先生の持論であったから、関係者はもちろん、学校全体が一体となって毎日の練習に熱心であり、研究的でもあった。」

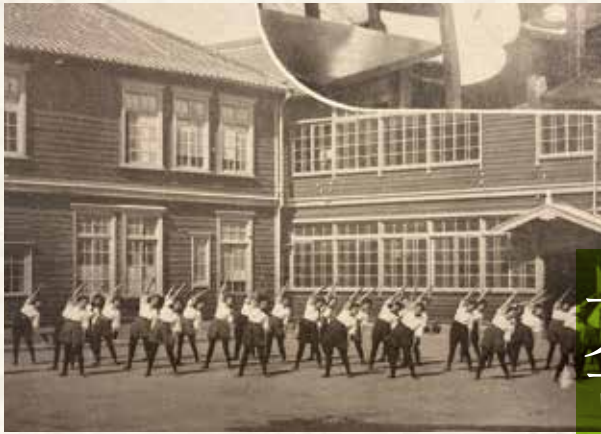
※今ならば理事長と法人事務局長を兼ねた立場だろう

私は本校の教員になるとすぐにテニス部の顧問となったが、外に出るといろいろな場で特に年配のテニス指導者から一目置かれる感覚があった。私の知っている精華の先輩指導者たちのおかげだと当時は思っていたが、それは

杉原市蔵以来の本校の静岡県におけるスポーツ界への功勞のためものだったのだ。それが今はよくわかる。私の前任者で校長になるまで副顧問として私を支えてくださった国枝伸行先生も「渡会さん、参加することに意義があるって言っちゃだめだよ。出るからには勝たなきゃ、生徒を勝たせてあげなきゃ」とよく言っていたものだ。市蔵の精神は確かに受け継がれていた。

「テニスで第一に思い出されるのは若先生のことです。先生はテニスの練習が始まると、炎天であろうと厳寒であろうと年中コートの後ろにじっとしゃがんで、選手を見つめて下さり、一人ひとりの選手を諭したり、褒めたり叱ったり一人残らず温かいよびかけをしてくださり、私どもの影となり、形となって、選手のいる処には必ず先生がおられ、共に苦しみ、共に喜んで下さったのであります。」(昭和2年卒業生「沢野綾子」の回想)

高級外車を乗り回しバイオリンやサキソフォンの演奏を楽しんでいた市蔵のイメージはまるで金持ちの跡取り息子だが、運動部を指導する上記のような市蔵の姿勢は今でも指導者のお手本だと私は思う。



体操1929(昭和4)年



テニス全国制覇1926(大正15)年



排球部(バレー部)



体操1935(昭和10)年

大正から昭和へ
1912 1945



授業風景1929(昭和4)年



下校風景1939(昭和14)年



修学旅行1935(昭和10)年



富士山登山1939(昭和15)年

歩み

写真で見る精華の歩み

明治期 精華の黎明期



創立当時の校舎と杉原校長



寄宿舍



朝礼風景 朝礼は毎日の日課でした。



第一回卒業記念1904(明治37)年



創立当時の先生方 中央が杉原校長



庭園でくつろぐ生徒たち

令和4(2022)年5月～令和4(2022)年9月 学校法人静岡精華学園年間行事予定表

| 5月 | May | 6月 | June | 7月 | July | 8月 | August | 9月 | September |
|------|-------------|------|----------------------------|------|-----------------------------|------|-----------------|------|------------------------|
| 1 ㊦ | | 1 ㊦ | | 1 ㊦ | | 1 ㊦ | 英語集中研修(中) | 1 ㊦ | 始業式(幼・中・高) 引渡し訓練(幼) |
| 2 ㊦ | 遠足(中・高) | 2 ㊦ | | 2 ㊦ | | 2 ㊦ | 英語集中研修(中) | 2 ㊦ | |
| 3 ㊦ | 憲法記念日 | 3 ㊦ | | 3 ㊦ | | 3 ㊦ | | 3 ㊦ | |
| 4 ㊦ | みどりの日 | 4 ㊦ | | 4 ㊦ | 幼稚園開放日(幼) | 4 ㊦ | | 4 ㊦ | |
| 5 ㊦ | こどもの日 | 5 ㊦ | オープンキャンパス(大) | 5 ㊦ | | 5 ㊦ | 職員研修会(中・高) | 5 ㊦ | |
| 6 ㊦ | こいのぼりの集い(幼) | 6 ㊦ | | 6 ㊦ | 七夕の集い(幼) | 6 ㊦ | 振替休日(中・高)7/31日分 | 6 ㊦ | |
| 7 ㊦ | | 7 ㊦ | | 7 ㊦ | | 7 ㊦ | オープンキャンパス(大) | 7 ㊦ | |
| 8 ㊦ | | 8 ㊦ | | 8 ㊦ | | 8 ㊦ | | 8 ㊦ | |
| 9 ㊦ | | 9 ㊦ | | 9 ㊦ | 第1回園児募集説明会(幼) | 9 ㊦ | 窓口業務お休み～8/15(大) | 9 ㊦ | |
| 10 ㊦ | | 10 ㊦ | スターライトクラス体験会(中) 交通教室(幼) | 10 ㊦ | | 10 ㊦ | | 10 ㊦ | 第2回園児募集説明会(幼) |
| 11 ㊦ | | 11 ㊦ | | 11 ㊦ | | 11 ㊦ | 山の日 | 11 ㊦ | |
| 12 ㊦ | | 12 ㊦ | | 12 ㊦ | | 12 ㊦ | 夏季休暇～8/16(中・高) | 12 ㊦ | クラス意見発表会(中・高) |
| 13 ㊦ | PTA総会(中・高) | 13 ㊦ | | 13 ㊦ | | 13 ㊦ | | 13 ㊦ | |
| 14 ㊦ | | 14 ㊦ | | 14 ㊦ | 静岡福祉大学見学会(高) | 14 ㊦ | | 14 ㊦ | |
| 15 ㊦ | 家族遠足(幼) | 15 ㊦ | | 15 ㊦ | | 15 ㊦ | | 15 ㊦ | 幼稚園開放日(幼) |
| 16 ㊦ | | 16 ㊦ | 幼稚園開放日(幼) | 16 ㊦ | オープンキャンパス(大) | 16 ㊦ | | 16 ㊦ | 祖父母参観(幼) |
| 17 ㊦ | | 17 ㊦ | | 17 ㊦ | オープンキャンパス(大) | 17 ㊦ | | 17 ㊦ | 学校説明会(中) |
| 18 ㊦ | | 18 ㊦ | | 18 ㊦ | 海の日 | 18 ㊦ | 就職セミナー(高) | 18 ㊦ | |
| 19 ㊦ | | 19 ㊦ | 桜凧祭(中・高) | 19 ㊦ | | 19 ㊦ | 卒園生の集い(幼) | 19 ㊦ | 敬老の日 |
| 20 ㊦ | 幼稚園開放日(幼) | 20 ㊦ | 公開授業(中・高) | 20 ㊦ | 終業式(中・高) | 20 ㊦ | 幼稚園開放日(幼) | 20 ㊦ | |
| 21 ㊦ | | 21 ㊦ | 公開授業(中・高) 後援会(大) | 21 ㊦ | | 21 ㊦ | オープンキャンパス(大) | 21 ㊦ | 前期卒業式(大) |
| 22 ㊦ | | 22 ㊦ | 後援会(大) | 22 ㊦ | 幼稚園開放日(幼) | 22 ㊦ | | 22 ㊦ | |
| 23 ㊦ | 修学旅行(中) | 23 ㊦ | 公開授業(中・高) | 23 ㊦ | | 23 ㊦ | | 23 ㊦ | 秋分の日 |
| 24 ㊦ | 修学旅行(中) | 24 ㊦ | 公開授業(中・高) | 24 ㊦ | | 24 ㊦ | | 24 ㊦ | |
| 25 ㊦ | 修学旅行(中) | 25 ㊦ | 公開授業(中・高) | 25 ㊦ | | 25 ㊦ | | 25 ㊦ | オープンキャンパス(大) |
| 26 ㊦ | 開校記念式典(中・高) | 26 ㊦ | | 26 ㊦ | | 26 ㊦ | | 26 ㊦ | |
| 27 ㊦ | | 27 ㊦ | | 27 ㊦ | | 27 ㊦ | | 27 ㊦ | |
| 28 ㊦ | | 28 ㊦ | | 28 ㊦ | 精華夏まつり(幼) | 28 ㊦ | | 28 ㊦ | |
| 29 ㊦ | | 29 ㊦ | | 29 ㊦ | | 29 ㊦ | | 29 ㊦ | |
| 30 ㊦ | 防災訓練(中・高) | 30 ㊦ | | 30 ㊦ | オープンスクール(高) 学校説明会(中) | 30 ㊦ | | 30 ㊦ | 新体力テスト(中・高) |
| 31 ㊦ | | | | 31 ㊦ | オープンキャンパス(大) オープンスクール(高) | 31 ㊦ | | | |

注：(幼)=幼稚園 (中)=中学校 (高)=高校 (大)=大学 行事の予備日については各組織にお問い合わせください

編集後記

SEIKA

★発行の目的

伝統ある教育機関「静岡精華学園」に属する幼・中高・大・法人本部の一体感を醸成するとともに「精華アイデンティティ」を形成する。

★編集方針

- 1.内外に静岡精華学園の現況を伝え、全職員が誇りを持てる職場環境を作る。
- 2.財務状況を含む経営の中身を透明化し、ステークホルダーと共有する。
- 3.学園内の様々な出来事を共有し組織内の風通しを良くする。

★発行日

年2回(春季・秋季)4月1日付 10月1日付

★編集委員

谷澤徳子(幼稚園)横山力(中高)清水康成(大学)遠藤ゆきゑ(同窓会)
高橋幸治(法人本部)森田さえ子(桜凧祭)太田晴康・渡会進(理事会)

中学・高校は「凧」という校誌を毎年発行しています。その校誌に「写真で見る精華の歩み」を載せようと高校校舎の事務室に保管されている卒業アルバム全てに目を通しました。去年の暮れのことです。当初は1～2日間もあれば大丈夫だろうと思っていましたが始めてみると切りがありません。途方に暮れましたが、同時に本学園の歴史の重さをずっしりと感じさせられた1週間になりました。120年の歴史の先頭に立ち、その歴史を次の100年に繋げていくのはまさに今、静岡精華学園に関わっている私たちです。(S・W)

information

望月圭二氏が、瑞宝小綬章を受賞されました。

理事長として14年の長きにわたり本学園に尽くして下さった望月圭二氏が、この度、瑞宝小綬章を受賞されました。先生は静岡県総務部長時代に公立高校と私立高校を費用対効果の面から比較し、私立高校の頑張りを広く県民に知らしめて下さいました。本学園の理事長に就任後も表裏のない率直な物言いで学園運営にあたり、評議員会での誠実な答弁がとても爽やかでした。心からお祝い申し上げます。



静岡福祉大学

人間形成教育を基盤として、だれもが安心して暮らせるユニバーサルな福祉社会を構築し、さまざまな分野で地域の発展に貢献する人材の育成を目指しています。



静岡大成高等学校

生徒一人ひとりの進路希望を大切にしている総合選択制。自分の進路希望に応じた選択科目を50科目以上から選択し、進路希望実現に向けて学習します。



静岡大成中学校

時代に適したスターライトクラスに加え土曜学習などといった主体性のあるプログラムを通じ本校ならではの意志のある教育を展開しています。



静岡精華幼稚園

たくさん遊びを通して経験・体験の幅を広げようとしている幼稚園です。経験・体験の豊富な蓄積は、子どもたちの学びと育ちの大事な土台です。